

豆腐平波・目録作業

ワ、オ、エと発音するハ、ヲ、ヘが目録作業で気になります。

私は、君を、天国へ、という時の助詞の取り扱いです。アルファベットではHA、WO、HEとするかWA、O、Eとするかという問題です。

カードを並べる順番を、表記通りとするか、発音に従って並べるか、それが問題だ。と言うほどの問題ではないですが、どちらかに決めないと心が休まらない。目録作業者の性でしょうか。

カードを綴る利用者は、口ずさみながら目印のカタカナ（あるいはアルファベット）をたどりますが、その時、助詞だからどうのこうのとは考えないだろうと思ういたしました。私は発音に従うことに決めました。

出版社で編集する人は、こういった細かい事をたくさん解決したのでしようね。おかげで一冊の統一のとれたことばで、ことばでんが出来上がっているというわけです。

カードではなくパソコン画面で検索する時代ですが、入力したデータがどう処理されるのか、コンピューター任せにする前に、目録作業者は手エックする必要も責任もあると思います。



本の虫 シミ

(開架式)の場合は、似た内容の本が集まっていた方が親切だろうからと、分類番号の数字の順に並べます。船橋市立図書館も開架式ですので、この方法で本が探せます。つまり現代日本の小説はまとまって並んでいます。量が多いので著者の五十音順あるいはアルファベット順に纏めます。同じ作家の本が一覧できるという仕掛けです。

分類の決まりはアメリカの「十進分類法」(DC)を参考にして日本向けにした「日本十進分類法」(NDC)が広く採用されている書です。

同じNDCを採用しているも、図書館によって判断・適用に違いが起ります。例えば山歩きの記録、小説家の作品なら文学とするのが妥当でしょう。そうでない場合は、さて紀行文学とみるか登山の記録か、土地の紹介として地理の本とするか。

例えば日記。「断腸亭日集」というのがあります。これは文学作品。著者が科学者や技術者の場合はどうするか。文学作品と見るか個人の伝記と見なすか。研究・専門分野、たとえば天文学とか鉄道車両とかに入れることも考えられます。

図書館の方針や分類担当者の考えで本棚のどこに置かれるか違ってくるようになります。だから私は、少しばかり知識があるからと、うるうる探し回らないで、きつさと図書館員に聞くことにしています。

浜町から 風の便り 34

2021 (令和3) . 10. 15.
船橋市浜町 辻 秀幸

寄贈惠贈受贈

へーそうなんですか。自分の大学の教授からの寄贈だったら三つ返事で喜んで受け取ってくれそうに思いましたけどね。ノーベル賞候補に何年か噂されないとだめなんですよかね。

昔、ぼくが図書館で働き始めた頃は、蔵書も予算も少ないので、図書館で寄贈を募ったものです。そこから基本的に寄贈は断りません。とはいっても、戦中の紙製の悪い本とか、日本は神国、米英は劣等国ということを強調した内容とかの本はどうしよう、ということがありました。市川学園の場合は、有りがたく頂戴した上で、自由に利用できるようにするか、書庫にしまいこむかにわけました。市川市の場合は頂戴することとそれ自体が難しい問題を引き起こす場合があるようで、ぼくにはよくわかりません。

学園では、現旧職員からの寄贈がありまして、ご本人からの場合は、学校や図書館のことを考えた上でのことですので、問題ないのですが、

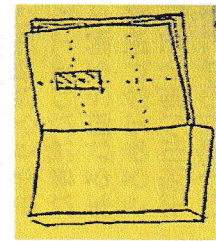
ご遺族からの場合に困ったことがあります。多分役だつ資料だろうから生徒さんたちに役立てていたのだきらいと、酸化していて触ると崩れる本とか、学生時代に愛用したであろう書き込みいっぱい旧仮名遣い旧漢字の小型辞書とか、なにかの展覧会のものらしいパンフレットだったりとかがまとめて段ボール箱で運び込まれました。貴重な資料、史料ではありましようが、図書館には図書館なりの方針があります。頂いた資料すべてを受け入れなければならぬ、ということはありません。この例の時は、わざわざ運んでいただいたのではありますが、数冊を利用に供し、その他は段ボール箱に入れたまま書庫に保管としました。

とまあそういうことで、寄贈を喜ばなかった図書館には、人手が足りないとか、類書がもうあるからとか、場所がないとか、しり込みする事情が起きているのかもしれない。

頂いた本には、寄贈者名を明記して感謝の気持ちを表します。利用する人に知らせるって意味もあります。この時使らハンコを寄贈印と言います。

氏寄贈

学園の図書館では標題紙の裏に押



盗難予防としては、隠し印っての
 がありまして知ってます
 か。学園ではこういう小さいハ
 ンコを決まったページの分かり
 にくい所に押してました。あん
 まり意味ないんじゃないか、そ
 の割に手間かかるだけだろ、っ
 てわけでやめました。

古本屋でそれらしい本が見つっ
 たとき、このハンコがあればウチの
 ものですって言えるわけ。でもそん
 なこと実際にあったかなあ。

朱肉時代の蔵書印が本文に少し重
 ねて押されてるのを見たといいまし
 たけど、これはハンコの部分を切り
 取って我が物にしたり、古本屋に持
 ち込む不届き者が居たので、そうい
 うことを阻止するためでもあったよ
 うです。

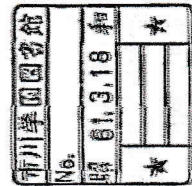
市川市の図書館に居た時、プロの
 本泥棒がつかまり、手口を自ラレポ
 ートにして提出したから参考に、と
 いう印刷物が警察から送られてきま
 した。

偵察から始まる。金になる本があ
 るか。持ち出す道はどこか。持ち出
 す時にいぶかしがられる危険を避け
 て、裏窓を探す。書庫の、裏に面し
 た窓で開けられるのはあるか。人け
 の無い時にそこから本を落とす。本

しします。表には
 蔵書印を押しま
 す。多分今も。
 (左の絵は、市川
 学園図書館「図書
 受入装備規定」1986
 から)

蔵書印ってのは所有権の主張です
 けど、昔々の、手書きで書き写して
 やっと一冊出来上る時代の、宝物扱
 いの頃の名残かなと思います。が、
 それほど古くはありませんですが、で
 かい蔵書印が朱肉で、本文の頭に重
 なるように押してあるのを見たこと
 があります。本文も大事なはずで
 が、盗難予防の意味が大きかったの
 かなと思います。それだけ盗みが多
 かったのでしょうか。

朱肉は大変。大きなハンコを真っ
 直ぐきれいに押すのは難しいし肩が
 凝ります。御名御璽じやあるまいし
 ということで、利用サービスや管理
 などに必要な項
 目をまとめて記
 録できるゴム印
 に変更してもら
 いました。受入
 蔵書印と名付け
 ました。



盗難のことに触れましたが、本泥棒
 の告自って興味あります？

泥棒レポート

が肝心。ハンコが印刷部分にかかっ
 てるとか、消しにくいハンコがある
 ページは、ほかの図書館の同じ本の
 頁と差し替える。などなど。

そんな手間暇かけて元が取れる
 ほどの本が町の図書館にあるとは思
 えないけど、版によっては結構なお
 値段になるとかで、何冊か組み合わ
 せてそういうお値段の張る本に仕立
 てるそうです。手先が器用で、古本
 業界の事情にも詳しくないと泥棒稼
 業はやってけないってことですよ
 かね。

盗難防止に、本に電子的なタグを
 つけるとか監視カメラとかいろいろ
 対策はしてるようですけど、どうな
 んでしょ。ぼくは欲しくなくなってだま
 って持ち出そうかと思っても、もし
 ばれたら、と悪事露見した後のこと
 が怖くて、実行する勇氣はありませ
 ん。死刑存廃論の抑止力問題を思い
 出します。欲しくなるとそのことで
 頭がいっぱいになって罰のことは考
 えないうヒトがいるらしいですし、金
 をいっぱい持ってても万引きするヒ
 トもいますしね。

区別差別仕分け・目録作業

右上の図は、目録カード時代の記入
 の例です。カード左端の記入とその名
 称を示します。一番上の数字を「分類番
 号」といいます。(図は、市川学園図書館

「図書受入装備規定」1986 から)

請求記号	913.6
別置案内	7 1 庫
寄贈者名	辻秀行氏
受入れ年月日	61.3.3.
登録番号	123456
定価	¥800.
定価注記	

分類について皆さんに改めて説明す
 るのはヤボですから止めにして、細っ
 かいことを傳ぶってのお話しです。

分類番号の数字は、数量ではなく記
 号として使っていますので、例えば
 「913.6」の場合は「キユウイチサンデ
 ンロク」と読みます。この番号は、頭か
 ら 文学・日本・小説・現代 を表しま
 す。数字がたくさん並ぶ場合は頭から
 3 字目と 4 字目の間にピリオドを付け
 るのがお約束。

この分類番号の下に著者記号 (図書
 記号。通常は著者の頭文字)、巻冊番号
 (上巻とか第 1 巻とか) などが記入さ
 れていて、これらの数字・文字が目録と
 現物とを結び役目をします。

利用者と本だを切り離す仕組み
 (開架式) の場合は購入 (受入処理) し
 た順に本棚に並べておくという方法が
 あります。書架を隙間なく使えるので、
 保存を目的とする施設ではこの方法を
 採用しているのかもしれない。

利用者が本棚から自由に選べる方法